科目区分	専門教育科目	科目名	介護・救急法	科目コード	17L760	担当者	森　弘行、田川　千秋
対象学生	ビジネス・医療秘書コース1年生	学期区分	通年	単位数	1	卒業要件	選択
						免許・資格要件	医療管理秘書士必修、病歴記録管理士必修

科目の主題	学修成果との関連（大◎、中○、小△）		
高齢者・障がい者など援助を必要とする人の介助法を修得する	1．「尽心」誠実な人柄と人間力	2．「創造」高度な知性と創造力	3．「実践」明確な意思と実践力

科目の到達目標		①誠実性・真摯性	②多様性・協働性	③知識・技能	④思考・表現・判断・創造力	⑤主体性・実行力・自立性	⑥就業力・貢献力
1．	人間の尊厳を理解し救急法の実践ができる						
2．	車椅子・杖などの使い方を理解できる						
3．	車椅子、視覚障がい、聴覚障がいのある人への介護方法を理解できる						
4．		○	○	○	○	○	○
5．							

授業方法	成績評価の方法と割合
体験演習と講義	受講態度（25%） 赤十字救急法救急員認定（50%） 提出物（25%）

準備学修	課題等への対応
けがの部位に応じた三角巾を使った包帯法をできるまで練習する。（各回30～60分程度） 歩けなくなった、聞こえなくなった、見えにくいなどが自分に起きた場合どのように声をかけてもらいたいか、どのように支援して欲しいかを考え、介助の方法に関する参考書を読む。	人の命に係わることですので、不明なことは納得いくまでたずね、練習するしかありません。

授業計画	
第1回	日本赤十字社救急法基礎講習（集中講義 1日）
第2回	日本赤十字社救急法救急員養成講習（集中講義 1日目）
第3回	日本赤十字社救急法救急員養成講習（集中講義 2日目）
第4回	介護演習
第5回	介護演習
第6回	介護演習

教科書・参考書	受講生へのメッセージ
配布資料を準備する	自分が不自由になった時、何が、どうしたのかわからなくなった時、どのように介助されたいか想像してください。